



「17歳のノーベル平和賞」に思う

校長 内山 茂



今年のノーベル平和賞が17歳の少女マララ・ユサフザイさんに贈られた。受賞理由は、「女子が教育を受ける権利を求めて闘っていること」による。彼女はパキスタン人で、イスラム教徒だ。イスラム教では、一般的に女性の社会的地位が低く、職業につくことや教育を受けることには否定的である。(宗派によって多少異なる)

しかし、マララさんは、将来、医師になることを目指して学校に通い、過激なイスラム教徒の一団(タリバン)の迫害を受けていた。そして、2年前、学校から帰る途中にバスの中で銃撃され、瀕死の重傷を負った。幸い、イギリスの病院に運ばれて奇跡的に一命をとり止め、その後も、「世界中の女性が教育を受ける権利」を求めて国連本部で演説を行うなど、精力的に活動を展開している。

日本では、「国民はひとしく教育を受ける権利を有する」ことが憲法(第26条)で定められている。私たちにとって、学校に行くことは当たり前のことであり、ほとんどの人が安穏として学校生活を送っている。しかし、世界には、マララさんのように命がけで学校に通い、勉強している人たちがいる。今、改めて、自分たちが恵まれた環境にあることに感謝すると共に、この機会に自らを見つめ直して、真に実りある学校生活を送ってほしいと願う。

沖縄修学旅行の実施について(案内)

いよいよ、2学年にとって最も大きな学校行事である修学旅行が目前に迫ってきました。

今年度の修学旅行は、当初、12月韓国修学旅行の予定でしたが、様々な観点から考慮した結果、平和学習を中心にして、2月に沖縄修学旅行を実施することになりました。

現在、長崎県は核兵器廃絶を求めて積極的に取り組んでいます。戦争を知らない皆さんが戦地を訪れて史料等を閲覧することで、平和についての理解を深めて欲しいと思います。また、クラスの仲間と寝食を共にすることで、更なる友情を深める良い機会にしてほしいと思います。

第46回文化祭 — テーマ「STORY」

11月8日(土)、第46回文化祭を開催しました。

来年度に挙行される本校の創立50周年に向けて、テーマを「STORY」とし、ステージ部門ではユニークな発表や有志によるバンド演奏等。校舎では、クラス毎に楽しいゲームや工夫を凝らした様々な展示が催されました。

また、各御家庭から商品を提供していただきました育友会バザーも好評で、恒例の餅つきでも、育友会会長 中脇 正則様と本校の校長先生と一緒に杵を下ろす場面も見られました。御支援・御協力をいただきました保護者の皆様、誠にありがとうございました。



新任の事務職員の紹介

11月から事務室に勤務することになった、宮崎 達也と申します。まだ、学校内のことがよく把握できていませんので、迷っている私を見かけたら、ひと声かけていただくと助かります。これから、よろしくお願いいたします。



第10回私学振興大会に41名が参加

11月21日(金)、長崎で開催された「第10回私学振興大会」に本校、保護者・教職員の計41名が参加しました。

本大会の趣旨である、公私間格差の是正を唱える決議文を、中村 法道長崎県知事様に受け取っていただきました。また、タレントの山田 邦子さんから「大丈夫だよ、がんばろう!」という演題で講話があり、乳がんを克服された体験談をお聴きしました。笑いを交えた和やかな講話に、保護者の皆様も楽しんでおられました。御多用の中、御参加いただきました保護者の皆様には、心からお礼申し上げます。誠にありがとうございました。



平成26年度 消火・避難訓練を実施!

11月26日(水)、佐世保西消防署の御協力により、消火・避難訓練を実施することができました。

警報が鳴ってからグラウンドに避難し、人員確認の報告が終了するまでの時間は、昨年度と比べ30秒程遅かったものの、落ち着いて静かに移動することができました。

男女6名で、消火器を使用した消火訓練も行いました。

